

岐阜県の プラスチック

工業組合の平成16年度総会を開催。組合定款を全面的に改正
記念講演は『中国産業の動向と今後の方向』（講演要旨を紹介）
組合青年部が総会開き、愛知県青年部との合同研修を決める
技能検定合格者に合格証書を伝達（合格者を紹介）
6月14日からプラスチック射出成形の実技検定試験を実施
事務局だより

総会後に行なった平成15年度技能検定合格者への合格証書伝達式



相互協力と活性化をめざす 法改正に伴い組合定款を全面変更

岐阜プラスチック工業組合は5月20日、岐阜グランドホテルで『第36回通常総会』と『平成15年度技能検定合格証書伝達式』を開催した。総会議案は①平成15年度事業報告と収支決算②平成16年度事業計画と収支予算③平成16年度賦課金及び納入方法④平成16年度取引金融機関及び借入金最高限度額⑤定款の全面変更―で原案どおり議決した。

続いて行なった『検定合格証書伝達式』では、平成15年度中に合格した特級2人、1級7人、2級39人の合計48人に合格証書を伝達、激励した。（記事は8～9ページ）

最後は記念講演会で、中小企業総合事業団から招いた小林修・国際化支援アドバイザーが『中国産業の動向と今後の方向』をテーマに、プラスチック産業が果たす役割を詳細なデータを示しながら講演した。（講演要旨は6～7ページ）

来賓を代表して激励 岐阜県と中央会から

新年度総会は、大野實副理事長の「プラスチック業界の景気回復は遅れているが、今年こそは…という思いで総会を開きたい」の開会あいさつで開始、大松利幸理事長が当面する「組合の役割とプラスチック業界の動向」について方向を示した。この後、来賓

を代表し井上勇・岐阜県農林商工部商工局産業経済室長と森本安彦・岐阜県中小企業団体中央会専務理事から激励の祝辞を受けた。

「産学官共同で商品開発図ろう」

大松理事長のごあいさつ

大松理事長は、まず業界動向について「業界は明るみが出てきたといわれるが、川下に位



総会でプラスチック業界の方向を示す大松理事長

置するプラスチック業界は、厳しい環境の中にある。というのは原材料値上げが頻繁で、昨年から3回も上がっているからだ。川上の原料メーカーは、統合合併により価格コントロールがしやすくなり、そのうえ原油高騰が拍車をかけている。こうした原料供給サイトの不安、一方では中国などの需要増からプラスチック原料は“供給は先細り”“需要は先太り”という厳し

い環境にある。成形加工業界としては、原料値上がり分を末端の製品価格へ転嫁もできず、ユーザーとの“せめぎあい”の状況…」と現況を話した後、今後の組合運営について、

「この総会に出席した組合員と情報交換していると、産業によっては価格転嫁が進んでいるという明るい話もあった。とす

れば、この明るさの到来は本物なのか。今年こそ、ピンチの後のチャンスの年にしたい。しかし、業界としては他力本願的ではなく、自主独立というか、商品開発によって苦況を切り抜きたいと思っている。業界としては、当面する課



技能検定合格証書伝達式に出席した各企業の合格代表者

題を大学や研究所へ持ち込み、産学官の分野を生かした共同研究によって、新商品開発を実現していきたいので、岐阜県はじめ大学や関係研究機関のご協力をお願いしたい」と、強力な支援を依頼した。

「地場産業再生や知恵生む人づくりを推進」

来賓の県産業経済室長と県中央会専務理事から激励のご祝辞

来賓の井上・県農林商工部商工局産業経済室長は「プラスチック成形加工業界は厳しい環境にあるとうかがいましたが県はもともと“ものづくり県”として発展してきたので、できる限り業界の要望、意見を聞かせていただき、県政に反映させたい」と前置きした後、

「昨年度は県の補助事業“廃プラの樹脂別分別回収と再資源化機構の実現化”をテーマに調査研究を実施されたが、この成果のみならず、社会の環境改善に大きく貢献されることと確信している。本年度の県政はこれまでの取り組みや改革の蓄積を活かした“産業は福祉の糧”の考えのもと、雇用確保対策を実施するとともに、差別化、高付加価値化による地場産業の再生や新産業の創出、雇用を誘発する交流産業の振興、知恵を生む人づくりを積極的に推進していきたい」とする坂本桂二・農林商工部商



あいさつする来賓

工局長の祝辞を代読した。

また、森本・県中小企業団体中央会専務理事は「先日、財務省の“景気は着実に回復”という明るい調査結果があったばかり。これは国県の施策はもとより、企業が足元を見つめリストラ、近代化、合理化してきた成果の現れでもある。しかし、中小企業にとっては“上向いてきた”という実感はまだ出てきません。長いトンネルでしたが、もう少しがんばれば、明るい陽ざしが見えてくると思う」と激励した。

新事業、予算などを可決

┌── 予算総額 1,889 万円 ──┐

総会議事は最初に①平成15年度の事業報告、総額2,487万余円にのぼる平成15年度決算②8項目、18事業にのぼる平成16年度の事業計画と総額1,889万円の事業予算③平成16年度賦課金及び納入方法④平成16年度の取引金融機関及び借入金最高限度額⑤定款の全面変更一の議案説明と審議の後、いずれも原案どおり可決した。

事業計画内容は「組合員企業の経営力強化のための事業はもちろん、組合組織の強化、相互協力や対外的な信頼関係の醸成をめざして事業展開していく」を基本方針に、次の事業に取り組むことにした。

技能向上へ検定事業を強力に推進

〈指導教育事業〉①前年度と同じく国、県、中小企業団体中央会、その他産学官等の関係機関と連携を図りながら組合員のための研修会、講演会、セミナーを積極的に推進する。

②技能労働者の技能向上のため技能検定試験◇プラスチック成形射出成形作業◇プラスチック成形用金型製作作業◇プラスチックブロー成形作業を実施、さらに関連職種の◇プラント製図・機械製図CAD作業一を促進する。

③技能検定試験の合格率向上のため、事前に各検定職種の特別講習会を実施する。

④通常総会に併せて技能検定合格証書の伝達式を行なう。

⑤経済、技術、環境等の講演会を開催する。

⑥廃プラスチック処理対策検討委員会を必要に応じて開催する。

⑦中小企業雇用促進関連機関との連携調整を行なう。

⑧先進企業の視察・研修や技術専門展の視察

見学会を開催する。

⑨ホームページ・リニューアルを継続する。

労働保険の事務代行をさらに促進

〈情報提供事業〉①会報『岐阜県のプラスチック』を発行し、必要な情報を提供する。

②国、県、関係団体等からの情報を提供する。

〈共済事業〉①組合員に低廉な薬品等の斡旋事業を行なう。②離型剤、防錆剤の斡旋事業を行なう。

〈金融事業〉県及び政府系金融機関等が実施する運転・設備資金の融資及び各種中小企業融資制度の周知、指導、斡旋事業を行なう。

〈事務代行事業〉組合員の労働保険業務を組合員に代わって行なう。また、勤労者福祉を支援、労働保険未適用事業所の適用促進を図る。

〈調査研究事業〉変革する社会情勢の中で適切な情報や施策を提供するため、必要な調査・情報の収集を実施する。

〈福利厚生事業〉組合員の親睦と交流・連携の促進を図るため①新年互礼会②組合員の健康づくり親睦ゴルフ大会③組合員の慶弔見舞③その他、理事会で必要と認める事業一を実施、組合の円滑な運営と組織強化、活性化を図る。

〈定例役員会の開催〉組合事業の懸案処理、各役員間の情報交換等、円滑な組合運営を図るため、隔月に定例役員会を開催する。

法改正を機会に定款を全面見直し

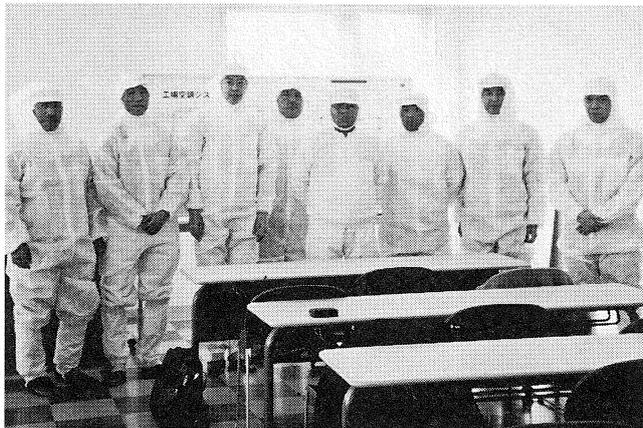
第5議案の「定款の変更」は、中小企業団体の組織に関する法律改正（安定・合理化事業の廃止など）に伴い行なった。また、この機会に組合運営の充実強化に向けて「届出」「役員の数と任期」「役員の選任及び職務」「役員の選挙」をはじめ各面の定款内容を見直し、明確化、字句の変更を含めて全面的に変更した。

新感覚で経営革新へ

愛知青年部を招いて研修
青年部の16年度活動方向

工業組合の青年部（林敬一郎部長）は、5月15日、岐阜市内のグランパレホテルで第23回通常総会を開き、平成16年度の事業計画や予算を決めた。新年度の活動目標は「青年部に属する次世代経営者は、新感覚による経営革新を果たさねばならない時期にきている。新感覚を常に念頭に置きながら他業界に遅れを取ることなく、プラスチック業界の振興に貢献していきたい」（林青年部長）とし、次の事業を実施していくことにした。

年間の事業は隔月に行うことにし、7月は岐阜市で愛知県プラスチック成形工業組合青年経



㈱オルパックを見学した組合青年部の一行

営者研究会との合同研修会、9月には視察研修旅行、11月には愛知県青年部と合同親睦ゴルフコンペ、平成17年1月は新年互礼会、同3月には経済講演会（県内のベンチャー企業の実態について）をそれぞれ予定し、計画を練っていくことにした。

最新の食品容器工場

青年部が美濃市の㈱オルパックを見学

組合青年部は、3月の月例行事として3月13日、組合員企業の工場見学会を行なった。見学先は新築間もない㈱オルパック（太田勝社長）の各種食品包装容器製造工場で、美濃市楓台の工業団地内にある。

青年部一行は、白い紙製のつなぎ服と帽子を着用して手を洗い、密閉されたクリーンルームでエアーシャワーを浴びて工場に入った。

工場内は、2階まで吹き抜ける明るく輝く空間、映画に出てくる未来型工場そっくり。真空成形機や熱板圧空成形機の成形ラインをへて量産される食品容器類は、コンピュータ管理され、ロボットアームによって次々と自動倉庫に入っていく様子は圧巻だった。

一行は、「同じプラスチックの成形工場なのに、徹底した衛生管理と自動化された容器成形工場」の近代化ぶりに感心させられた。

ポリエチレン
スミカセン[®]
エチレン酢酸ビニル共重合樹脂
エバテート[®]
ポリプロピレン
住友ノーブレン[®]
ポリスチレン樹脂
エスプライト

塩化ビニル樹脂
スミリット[®]
メタクリルシート
スミペックス[®]
メタクリル樹脂
スミペックス-B[®]
高密度ポリエチレン
スミカセンハード

熱可塑性エラストマー
住友TPE
合成ゴムSBR
住友SBR
合成ゴムEPR
エスプレン[®]
エチレン酢酸ビニル
塩化ビニル共重合樹脂
スミグラフト[®]



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

伸びる一途、中国のプラ産業

講師は事業団の小林アドバイザー

工業組合は岐阜グランドホテルで総会を開いたが、これを記念して中小企業総合事業団の小林修・国際化支援アドバイザーを招いて『中国産業の動向と今後の方向（プラスチック産業が果たす役割）』をテーマに講演してもらった。

小林講師は神戸外大・中国語科卒後、三井物産㈱へ入社、約20年間にわたって北京、上海、大連、台湾に駐在し、対中国に関する企画・営業活動を展開してきた人。3年前に退社、現在はその実績を活かし、中小企業の国際化支援アドバイザーとして中国ビジネスマンの育成に従事している。次は講演の要旨である。

中国経済は、もはや加熱気味

○…私の家は3代とも包装資材にはじまるプラスチック事業に携わり、皆さんと同業です。それだけにプラスチック事業には、日頃から強い関心をもってきた。講演では収集した中国におけるプラスチック産業情報に焦点を当て、話を進めていきたい。

まず、中国経済の現状を最新の資料から紹介すると。昨年1年間に中国経済の中で、もっとも発展したのは製造業。この状況を見て「過熱気味」とか「バブルではないか」といわれるほど。指標を見ても前年比の実質成長率は9.1%増、しかも今年に入った1～3月は実に9.7%の伸びであった。

自動車に続くパソコンと電話

○…中国は、これまで自動車など特定の業種・企業に絞って優遇、誘致してきたが、自由化に向け施策転換しており、早くも自動車産業に変化が表れてきたようだ。自動車に続くのは通信機器でパソコンと携帯電話がかなりの伸び。とくに携帯電話は昨年1年間で

6,296万台も増えたというから、ケタ違いの伸びぶりである。ところが日本の携帯電話メーカーは出遅れている。

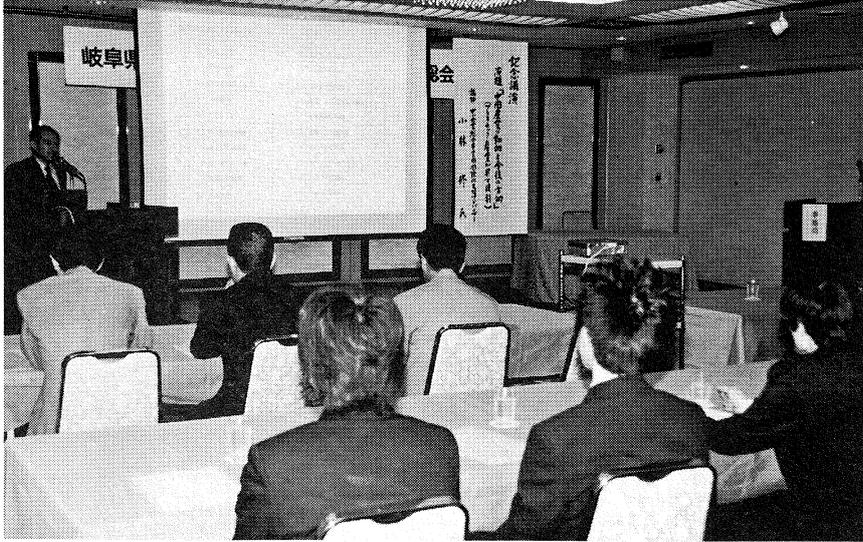
この傾向は中国からアジア経済全体へと広がり、調査によると中産階級が増加し、人口の若年化によって、若者の消費購買欲が急速に伸びていることが主因といわれる。

有望産業は自動車とその関連

○…中国のプラスチック製品工業会が発表した昨年1年間のプラスチック製品生産量は1,651万ト、自動車生産は441万台、冷蔵庫は2,126万台、1人当たりGDPは9,030元（約1,060ドル）というから驚かされる。

自動車産業はGDP 2,000ドルを超えると急速に伸びるというから、政府はこれを見越して自動車産業に力を入れているわけで、やはり有望産業は自動車とその関連産業が筆頭といえそうだ。

こうした中国経済の中で、今、何が問題点かということ貿易摩擦が発生し始めたこと。日中貿易はバランスが取れて順調であるが、中国と米国相互の貿易不均衡がもたらす影響は



中国のプラスチック事情について講演する小林修アドバイザー

すでに出てきている。中国は米国への輸出5に対し、輸入はわずか5分の1、5対1にとどまっている。今後、中国は戦略的に米国から繊維製品や化学製品を買わなければならなくなり、日本の対中国貿易は米、中の動きを見ながら展開しなければならなくなった。

それに中国貿易はこれまで商社を通じなければできなかったが、貿易法の改正で7月1日から自由化され、自ら輸出入できることも念頭において取り組まねばならない。

樹脂製品10年後に5千万トンへ

○…中国素材産業は、資本主義と計画経済が一緒になった混合経済で、5年ごとに改められている。プラスチックなど化学製品関係、とくに樹脂製品の生産は計画に沿って進んでおり、98年までの15年間に1.6倍も伸びた。GDP成長率では10.3%、これに対し樹脂消費量の成長率は16.7%になる。

樹脂製品の生産量は、2003年の時点で年間1,651万トンに達していることから、これをもとに推計すると、年率平均10.0%と低めに見積もってみても、2005年の生産量は2,500万トン、さらに10年後の2015年には5,000万トンという驚くほど大きな数字になる。

2005年の各市場ごとの予測は、農業用フィルムが470万トン、包装用プラが550万トン、建材

用400万トン、工業部品用450万トン、日用・医療用プラが472万トン、合成皮革が78万トン、その他のプラ製品が80万トンとなり、2015年にはその倍が推定される。

こうした原料樹脂の供給は、来年で終わる第10次5カ年計画で進出した4大外資プロジェクト（南京、上海、惠州、福建のコンビナート）が稼働するので、先行きは比較的自由に調達できるようになるだろう。

中国進出は協力の気持が大切

○…プラスチックに関しては、廃プラ輸入が問題になっている。その廃プラをめぐって中国政府は、5月13日、日本からの輸入を全面ストップした。発表によると「積荷の廃プラ中に、バーゼル条約に違反する危険物を発見した」からとしている。

日本からの廃プラ輸出は2003年に68万トン、今年は1～3月で20万トンと急増している。こうした廃プラは、余姚市などの再生工業団地で、人海戦術によって樹脂別に分別、再生、レジンあるいは成形品として出荷し、樹脂原料の供給不足を補っている。

最後になったが中国進出に当たって大切なことは「中国側が望む生産に協力する」「合併する国営企業に貢献する」ことを決して忘れてはならない。中国で「この事業をやりたい」という考えではなかなか進まない。それに進出地域の産業政策を知ることが重要な要件で、こうした問題点については、中小企業総合事業団へぜひ相談してほしい。

総会の席上で技能検定合格者を激励

平成15年度は48人、女性の技能士も誕生

工業組合は新年度総会後の席上で『技能検定合格証書伝達式』を行い技能検定合格者の前途を祝った。

伝達対象者は、平成15年度前期に合格した24人、平成15年度後期に合格した24人の合計48人で、プラスチック金型製作で特級合格者1人、また、プラスチック射出成形2級

で女性の技能士1人の誕生が注目された。次は合格者のみなさん。

なお、技能検定実施いろいろの組合関係合格者数は、プラスチック成形の特級7人をはじめプラスチック射出成形作業1級67人、2級406人、ブロー成形作業1級15人、2級72人、プラスチック金型製作作業は特級1人、1級11人、2級44人に達した。

〈15年度前期技能検定の合格者〉

◆プラスチック成形（1級4人、2級19人）

- 1級 中井 裕治（岐阜プラスチック工業㈱）
近澤 正司（ムネカタ㈱岐阜ファクトリー）
武藤 修平（㈱武藤化成工業所）
脇田 清彦（ムトー精工㈱）
- 2級 細川 淳多（岐阜プラスチック工業㈱）
林 真樹子（岐阜プラスチック工業㈱）
宮嶋 一泰（岐阜プラスチック工業㈱）
大堀 泰章（岐阜プラスチック工業㈱）
奥村 好伸（岐阜プラスチック工業㈱）
菊田 裕紀（岐阜プラスチック工業㈱）



伝達式に出席した検定合格者が大松理事長を囲んで記念撮影

- 遠藤 喬也（岐阜プラスチック工業㈱）
尾上 明（岐阜プラスチック工業㈱）
原 淳二（ムトー精工㈱）
浦川 忠訓（ムトー精工㈱）
中島 一彦（ムトー精工㈱）
伊藤 芳章（ムトー精工㈱）
早川 幸泰（ムトー精工㈱）
谷口 哲也（ムトー精工㈱）
齋藤 和也（㈱中部合成）
末政 健二（コダマ樹脂工業㈱）
浅野 隆将（コダマ樹脂工業㈱）
高木 晃（八幡化成㈱）
田原 勇二（㈱川瀬樹脂工業）

◆機械加工数値制御フライス盤（2級1人）

- 2級 古川 智紀（岐阜プラスチック工業㈱）

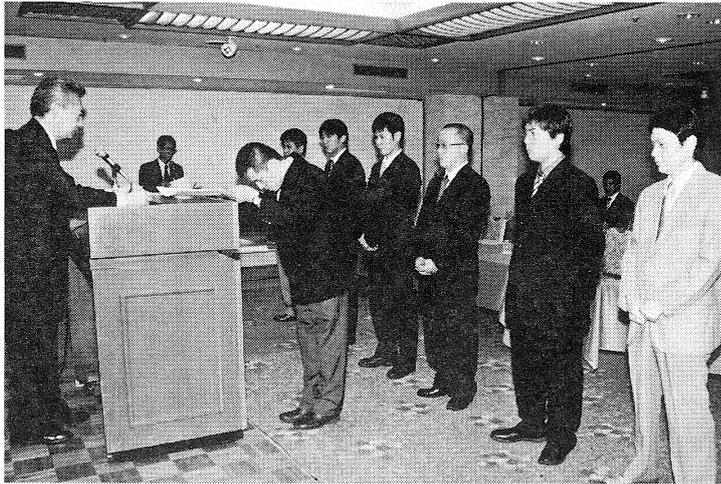
〈15年度後期技能検定の合格者〉

◆プラスチック成形（特級1人）

- 特級 宇野 真司（ムトー精工㈱）

◆ブロー成形作業（1級3人、2級15人）

- 1級 平江 慎介（コダマ樹脂工業㈱）



大松理事長から技能検定合格証書の伝達を受ける代表

角橋 正男 (コダマ樹脂工業㈱)
 鈴木 康弘 (コダマ樹脂工業㈱)
 2級 岩口 幸生 (コダマ樹脂工業㈱)
 松村 盛雄 (コダマ樹脂工業㈱)
 松永 芳文 (コダマ樹脂工業㈱)
 森 正樹 (コダマ樹脂工業㈱)
 村地 伸也 (コダマ樹脂工業㈱)

◆プラスチック成形用金型

(特級1人、2級4人)

特級 辻 伸晃 (ムトー精工㈱)
 2級 松村 保 (ムトー精工㈱)
 船津 好弘 (ムトー精工㈱)
 三品 達也 (ムトー精工㈱)
 高橋 和成 (岐阜プラスチック工業㈱)

プラスチック射出成形の実技検定

6月14日から18日間

講習会は6月9日から3日間

工業組合は県職業能力開発協会から受託した平成16年度前期技能検定『プラスチック射出成形』の実技試験を、6月14日から7月7日までの土日を除く18日間、県製品技術研究所で実施する。また、検定に先立つ特別講習会を6月9日から3日間、同製品技術研究所の3階講堂で実施する。

学科、実技で102人、過去最多

今年度の射出成形受検予定者は、1級が学科のみ7人、実技のみ6人、両方18人、また2級は学科のみ24人、実技のみ9人、両方が38人の合計102人にもものぼり、平成12年度の90人を上

回る高水準の検定となった。うち実技対象者は1級24人、2級47人、合計71人となる。

今年度は1級受検者が倍増したこともあって検定希望者は過去最多の100人の大台を超えた。このため特別講習会のカリキュラムを改め、成形機の取り扱い実習時間を増やし、第1日目午後は講義と実習の2組に分けて行なうなど、キメの細かい講習方法を採用し、合格率アップをめざすことにした。

実技検定試験は、午前、午後に分かれて1日4人ずつ行なう。2級は2時間30分以内に2種類の樹脂を使用し、課題の箱状成形品を作成する。1級は3時間10分以内に2種類の樹脂を使用、課題の成形品を成形し「成形収縮率計算票」と「材料歩留まり率計算票」を作成する。

なお、学科試験は8月22日、合格者の発表は10月5日(火)に行なわれる。

平成14年のプラスチック製品出荷額

出荷額3,322億余円でやや減少 パートや派遣社員は30%超える

岐阜県がまとめた『平成14年・工業統計調査』によると、プラスチック製品を製造する事業所は799事業所、従業者数は1万4,243人、年間製造品出荷額は3,322億4,000万円を記録した。平成14年は不況の影響をもろに受け、県内産業は化学と輸送機器関連を除いて事業所数、従業者数、製造品出荷額、さらには付加価値額を加えた4指標ともそろって後退した。これまで着実な伸びをみせていたプラスチック製品製造業も、不況と受注先の海外進出の余波を受け、従業者数、事業所数、出荷額、付加価値額ともに減少した。

また、前回調査から始まったパート・アルバイト、出向・派遣受け入れ、臨時雇用者の調査でプラスチック業界は、総従業者数14,243人の約3割を超える4,365人にも達し経営内容悪化による人件費コストの削減に取り組む厳しい姿勢がうかがえる。

事業所の減少は個人 企業の転廃業による

平成14年の工業統計調査は最新の内容で、前年調査の平成13年調査実績と比較すると。

《事業所数》プラスチック製品製造事業所は、31事業所が減少（前年比3.9%減）し、799事業所となった。

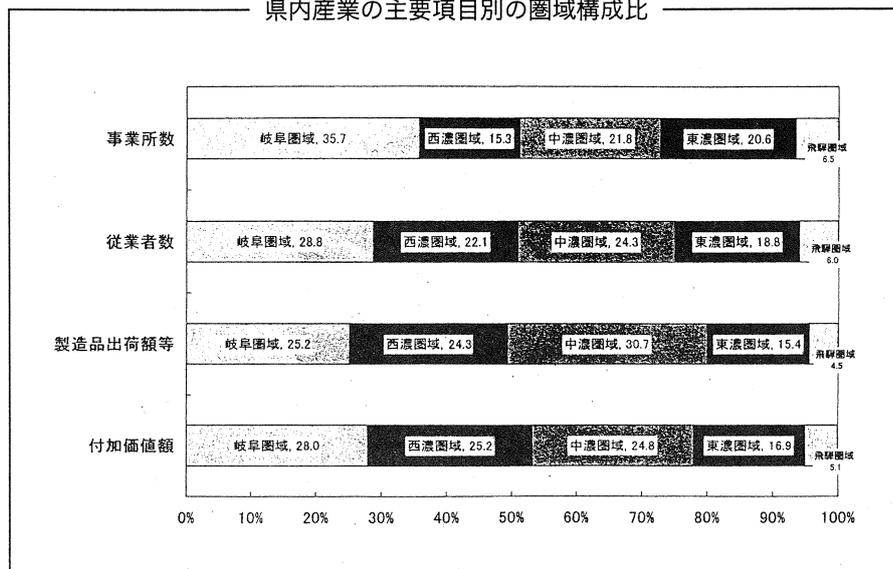
組織別にみると、会社法人が13増の443事業所、個人事業所が18減の356事業所であった。この不況はとくに下請け、中小企業に厳しく、ほとんどが小規模事業所の転・廃業であった。

岐阜県プラスチック業界の規模

（平成14年工業統計調査から）

- ◎事業所数 = 799 事業所
（会社法人 443、個人企業 356）
- ◎従業者数 = 14,243 人
（全県従業者数のウエートは 6.4%）
（正社員・正職員 9,454 人）
（パート・アルバイト 3,007 人）
（出向・派遣受け入れ 1,218 人）
（臨時雇用 140 人）
（個人事業主と家族 564 人）
- ◎製造品出荷額 = 3,322 億 4,000 万円
（出荷額の全県ウエートは 6.9%）
（県内産業別の順位では第6位）
（1人当たり出荷額は 2,334 万円）
（同全県平均出荷額は 2,160 万円）
- ◎付加価値額 = 1,279 億 4,800 万円
（付加価値額全県ウエートは 6.7%）
（1人当たり付加価値額は 898 万円）
（県内産業平均付加価値額は 865 万円）

県内産業の主要項目別の圏域構成比



は30%を超えた。

県内従業者数は11年間連続

岐阜県全体の従業者数は22万2,042人で、前年に比べて8,053人、3.5%も減少し、平成4年以降11年間連続の減少となった。規模別に見ると、3人以下で7%減、4～9人以下で8%減が目立ち、9

一方、県内製造業は1万8,062事業所で、前年に比べて1,206事業所（前年比6.1%減）も減少、2万事業所を大きく割った。

産業別では、衣服・繊維製品製造業など全業種が減少した。県では「岐阜地域の衣服・繊維製品、東濃地域の窯業・土石製品製造業が安価な中国製品による市場浸食が大きく影響している」と見ている。

出向・派遣受け入れ数は増える

《従業者数》プラスチック業界の従業者数（常用労働者）は1万4,243人で前年より334人（前年比では2.3%減）減った。

従業者数の内訳は、正社員が9,454人（うち女子2,422人）パート・タイマー、アルバイトが3,007人（うち女子2,449人）出向・派遣受け入れが1,218人（うち女子567人）で、このほか臨時雇用が140人（うち女子58人）となり出向・派遣受け入れを除いて減少した。

個人事業主及び家族従業者は564人（うち女子201人）で、小規模事業所の転廃業から減少した。

正社員・正職員以外のパート・タイマー、アルバイト、出向・派遣受け入れ人総数は4,365人と予想外に増加し、常用雇用者に占める割合

人以下の小規模事業所は、県全体で減少した約半数を占める減少率になった。産業別ではやはり衣服・繊維製品、窯業・土石の減少が目立ち、増加したのは輸送用機器、化学工業であった。

県全体のパート・タイマー、アルバイト、出向・派遣受け入れは、合計4万9,184人、実に正社員・正職員の31%（全国平均30%よりやや高率）も占めた。

構成比6.9%、順位は6位確保

《製造品出荷額》プラスチック業界の製造品出荷額は3,322億円、これまでの生産出荷のピークである平成12年に比べ165億円、約4.5%減少した。県内23業種中で21業種が減少したが、プラスチック業界の減少幅は最小限にとどまった。

県全体に占めるの構成比は、前年同様の6.9%で、全県製造業に占めるウェイトは6位を確保した。その産業別順位は①輸送用機器②一般機械③電気機器④窯業・土石製品製造⑤金属製品⑥プラスチック製品⑦食品製造⑧化学工業⑨電子部品⑩パルプ・紙・紙加工品—で、プラスチック産業は岐阜県7大産業の地位を確実なものにしている。

一人当たり生産性は2,334万円

プラスチック製品製造業の労働生産性（従業員1人当たり製造品出荷額）は2,334万円、県平均は2,160万円で、前年比27万円の減少になったものの、県平均を14万円上回った。

また、加工賃収入は182億1,963万円、修理料収入は906万円だった。前年に比べると加工賃収入がやや減、修理料収入は大幅に減少した。

全県の製造品出荷額は4兆7,971億円で、前年に比べ2,509億円、5.0%も減少、徐々に盛り返してきた県内の製造品出荷額は、景気低迷の波には逆らえず後退し、5兆円の大台を割ってしまった。

産業別に見ると、減少したのは一般機械器具、窯業・土石製品、繊維製品が大幅に落ち込み、輸送用機器と化学工業は増加した。

とくに岐阜圏域の輸送用機器、化学工業、一般機械は大幅に伸び、西濃圏域では電子部品、プラスチック製品、一般機械が伸びた。中濃圏域では電気機器と輸送用機器が伸び、一般機械器具が後退、東濃圏域では窯業・土石製品が大

きく後退、これに代わって電気機械器具が大きく伸びた。

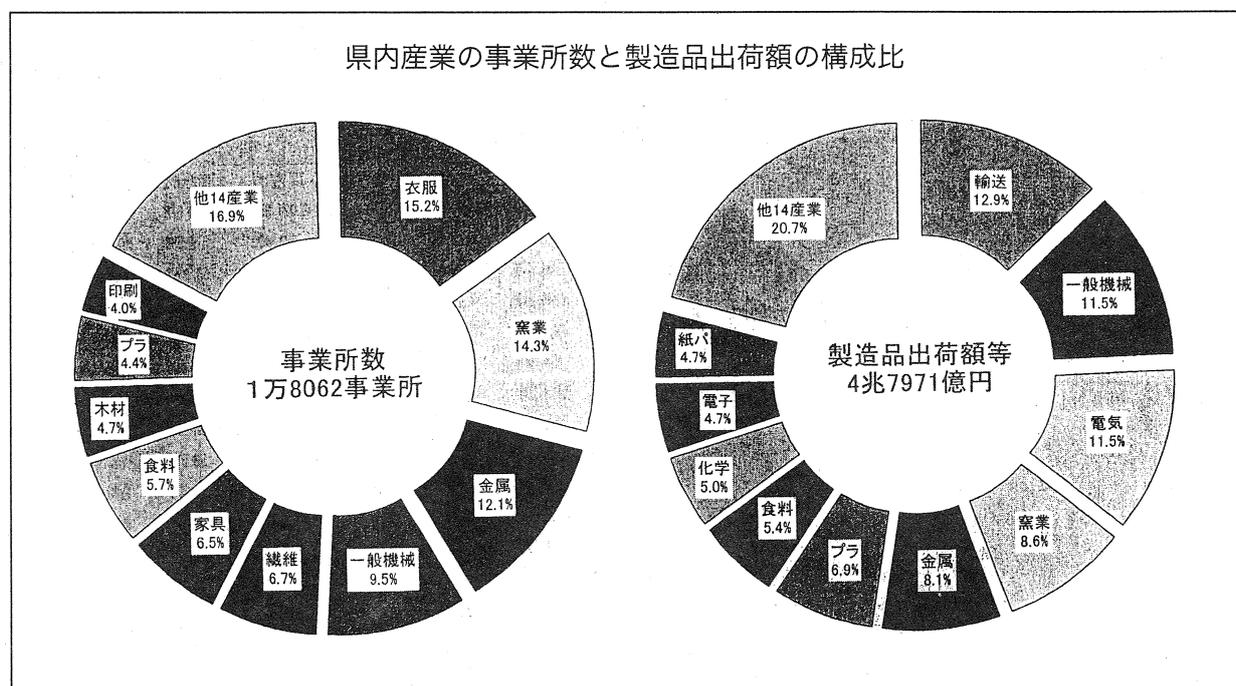
一人当たり付加価値額は大きく後退

《付加価値額》プラスチック製品製造業界の生産加工能力を示す付加価値額（製造品出荷額から加工賃収入額と修理料収入額を差し引いた額）は1,279億4,757万円で、前年に比べ66億7,383万円、5.5%減少した。

平成11年に1千万円の大台に乗せた付加価値生産性（従業者1人当たり付加価値額）は平成12年に998万円に減少、平成13年に925万円、さらに今回調査の平成14年には898万円と、大きく後退した。県平均も878万円から865万円と大きく下げ、県内産業界全体の落ち込みぶりがうかがえる。

平成14年における県全体の付加価値額は1兆9,198億円。前年に比べると1,021億円、5.0%もの減少になった。原材料使用額等は増加したものの、製造品出荷額等が減少したことから付加価値額は伸びなかった。

県内産業の事業所数と製造品出荷額の構成比



事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□総会出席ありがとうございました□

5月20日に岐阜グランドホテルで開催しました新年度総会へのご出席ありがとうございました。議事は2～4ページに紹介しましたようにいずれも原案どおり可決していただきました。事業実施に当たっては、より充実した内容に盛り上げて進行していきますので、一人でも多くのご参加とご協力をお願いします。

□視察研修や親睦ゴルフ大会を開催□

総会前には今年度2回目の理事会を開催し、総会への提出議案と当面する事業実施計画を協議してもらいました。

内容は、6～7月の前期技能検定と特別講習会、10月の先進施設視察研修会、11月の親睦ゴルフ大会、来年1月の新年互礼会、2月の後期



総会前に開いた理事会

技能検定一などで、各事業とも開催内容が決まりしだい文書でお知らせいたします。

岐阜県のプラスチック 2004年 第176号

平成16年6月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話(058) 272-7173

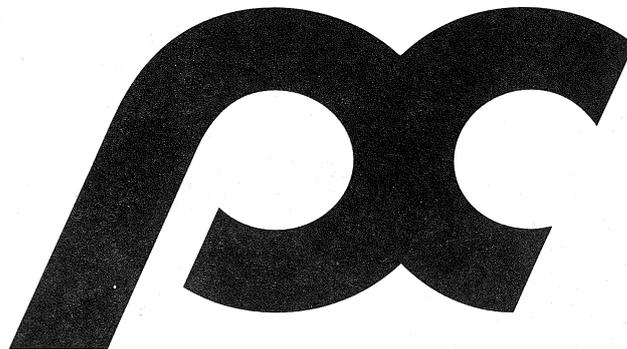
FAX(058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 宮田 高

創世ポリケム・パワー

質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニー



三菱化学と東燃化学との創造的な出会いから生まれたポリケムは、平成8年9月、質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニーをめざしスタートしました。ポリオレフィン樹脂のスペシャリストとして、国内では最大、世界でも有数の規模を誇るポリケムは、四日市・川崎・水島の3技術センターのそれぞれの特長を活かし、多種・多様で高品質のポリケム・バリューをお届けしてまいります。

技術と信頼の証 **ノバテック**
NOVATEC

NOVAは「新星」。
ポリケムは、常に先進の技術革新に取り組み、最新・最良の品質のポリオレフィン樹脂「ノバテック (NOVATEC)」をお届けします。

高密度ポリエチレン	ノバテックHD
低密度ポリエチレン	ノバテックLD
直鎖状低密度ポリエチレン	ノバテックLL
直鎖状低密度ポリエチレン	ノバテックC6
エチレン-酢酸ビニル共重合樹脂	ノバテックEVA
ポリプロピレン	ノバテックPP

日本ポリケム株式会社 東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル 千100
TEL 03-3287-9010 FAX 03-3287-9040

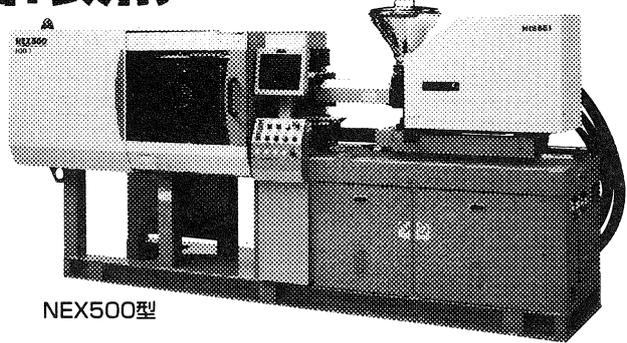
ISO9001 : 2000・ISO14001 認証取得

NISSEI

成形現場が NEX開発の着眼点

User Friendly Concept

電気式射出成形機
新エルジェクトNEXシリーズ



NEX500型

射出成形機・金型・金型製作ソフト・成形支援システム

NISSEI®

日精樹脂工業株式会社

■名古屋営業所・名古屋アニュアルセンター / 〒485-0039 愛知県小牧市外堀2-167 ☎ (0568) 75-9555 (代)
■岡崎出張所 / 〒444-0858 愛知県岡崎市上六名4-1-8 三創ビル1F ☎ (0564) 52-1430
■三重出張所 / 〒514-0824 三重県津市神戸横田203-4 ☎ (059) 224-0716
■本社・工場・技術研究所 / 〒389-0693 長野県埴科郡坂城町南条2110 ☎ (0268) 81-1050 (営業部)
●http://www.nisseijushi.co.jp

いま、生産現場が、取り組んでいる課題…

- 歩留まりの向上
「成形加工の安定・追求」(時々発生する成形不良を無くしたい)
- 生産性を高める
「ハイサイクル・高精度・高剛性・高耐久」
- 金型を守る
「成形品挟み込みによる破損を無くしたい」
- 成形領域の拡大
「射出高性能化・多彩な成形制御プログラム」
- 作業環境の改善
「操作性の改善・作業環境の改善」
- 間接作業時間の短縮化
「段取り替え/メンテナンス作業の簡素化」
- 将来を見据えた取組み
「成形ノウハウの蓄積・構築、ネットワーク化」

殻を破った!

直圧式電動射出成形機

NADEMシリーズ

直圧式型締機構とダイレクト駆動で
「電動」がさらにレベルアップ。

- 画期的な直圧式型締機構。
(特許出願中)
- ACサーボモータによるダイレクト駆動で応答性の極限値を達成。
- 特殊装置による背圧制御で、
低圧域の精度を高め、ロードセル
の長寿命化を実現。(特許出願中)
- コントローラは高応答、高操作性
を追求して開発した、専用の「VISTAC-α」を搭載。



NADEM 800-DM
(型締力800 kN) オプション装着機



株式会社 名機製作所
http://www.meiki-ss.co.jp

本社・工場 〒474-8666 愛知県大府市北埜町大根2 ☎ (0562) 48-2111 (代)
中部支店 〒474-8666 愛知県大府市北埜町大根2 ☎ (0562) 47-2391 (代)
岐阜出張所 〒501-6001 岐阜県羽島郡岐南町上印食8-104 ☎ (058) 247-2674 (代)

化学の、もっと大きな可能性へ。

私たちがめざすのは、新しい時代の化学会社。

よりグローバルに、よりダイナミックに、もっと大きな可能性を求めて、

三菱化学は世界の期待に応えます。

三菱化学

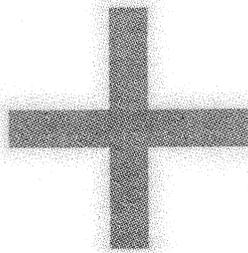
三菱化学株式会社 東京都千代田区丸の内2-5-2 〒100(三菱ビルディング) Telephone:03-3283-6274(ダイヤルイン)

ShinEtsu

信越シリコーン

またひとつ、新機能。

[プラスアルファ]



ヒラメキを糧に新たな機能をプラス

信越シリコーン

「こんな素材があったらいいのに!」「こんな機能をプラスできれば!」…そんないくつかのヒラメキに出会い、信越シリコーンはこれまでとは違う個性を持つ、新しい機能を付与した高機能シリコーン製品を開発してきました。これからも、さまざまなご要望にお応えし、お客様の製品に+αの付加価値をつけるシリコーンを提供してまいります。

【新しい機能で製品に付加価値をプラスするシリコーン】

■ 樹脂改質用シリコーン

オイル、パウダー、シランカップリング剤、レジジンなど。樹脂に潤滑性・耐摩耗性、耐衝撃性・難燃性・成形性などの付与に

*取り扱いが容易で分散性に優れたシリコーンマスターバレットもあります。

■ シリコーン離型剤

オイル、ペースト、エマルジョン、スプレーなど。離型性はもちろん、つや出し、表面保護、潤滑性向上などに

■ シランカップリング剤

合成樹脂、塗料、接着剤などの機能向上に

■ シラン

セラミックスの合成、無機物質の表面改質、樹脂改質などに

信越化学工業株式会社

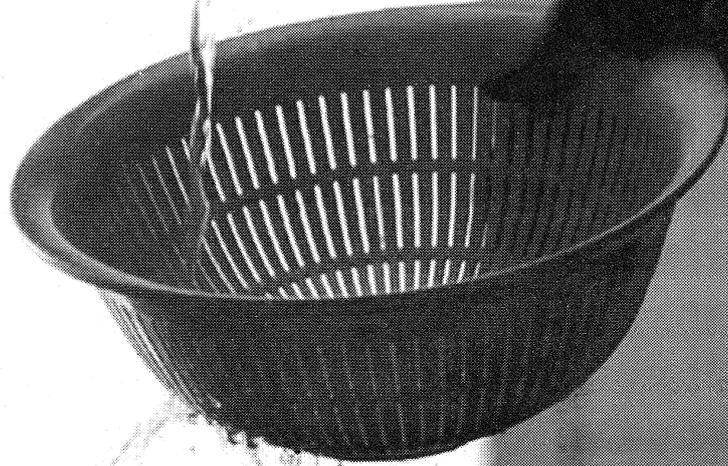
〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-27-23 名古屋三井ビル東館
名古屋支店 シリコーン部 (052) 581-6515

くらしのこだわり...

HOME &
HOME

-RISU BASIC-

クロス
croissant



より洗いやすく、より快適に。

キッチンウエアはいつも清潔にしておきたい。

そんな要望にお応えして、リスは「より洗いやすい」形状と素材を開発しました。

キッチンウエア 3つのPoint

ポイント
1

汚れ防止加工

台所の汚れが付きにくく落ちやすい
特殊加工の素材を使用しています

ポイント
2

洗い易いカタチ

余分な凹凸を無くし、洗浄がラクラク

ポイント
3

抗菌 めめり防止加工

半永久効果持続、無機系抗菌剤だから安心

 RISU株式会社

岐阜プラスチック工業株式会社

岐阜プラスチックグループ

●本社：岐阜市神田町9丁目25番地
TEL：<058>265-2233

●リスパック株式会社 ●リスエンジニアリング株式会社
●リス株式会社
●リス興業株式会社